

## 手術・侵襲的検査における休薬期間の院内指針

注：この指針はあくまでも一般的、標準的なものであるため、個々の症例でどの休薬方法を行うかについては、症例ごとの病状・病態の重症度を検討したうえで、主治医が最終的に判断するものとする。

国立病院機構 大阪南医療センター 医療安全管理室  
2023.12.27. 承認、2024.1.4. 施行 (ver6.0)

分類	一般名	商品名	手術・侵襲的検査の出血危険度				
			低リスク	中リスク		高リスク	
				血栓症発症リスク			
		低リスク	高リスク	低リスク	高リスク		
抗血小板薬	アスピリン	バイアスピリン	アスピリン	アスピリン腸溶錠	休薬なし (胸部外科手術:7日)	7日	休薬なし
	アスピリン・ダイアルミニート配合剤	バファリン配合錠A81	アスファネート配合ニトギス配合	バツサミン配合			
	アスピリン・ランソプラゾール配合製剤	タケルダ	バファリン配合錠A330	ファモター配合			
	アスピリン・ポノプラザン配合製剤	キャブピリン					
	プラスグレル塩酸塩	エフィエント					
	クロビドグレル硫酸塩	ブラビックス					
	クロビドグレル・アスピリン配合製剤	コンブラピン	ロレアス				
	テクロピジン塩酸塩	パナルジン					
	チカグレロル	ブリリント					
	ペラプロストナトリウム	ドルナー	プロサイリン	ケアロードLA			
	イコサセント酸エチル	エバデール	エパロース				
	オメガ-3脂肪酸エチル	ロトリガ					
	シロスタゾール	プレタール	ホルタゾール				
	サルボグレラート塩酸塩	アンブラーグ					
	ADCO	アピキサバン	エリキユース				
エドキサバン		リクシアナ					
ダビガトランエテキシラート		ブラザキサ					
リバロキサバン		イグザレルト					
抗凝固薬	ワルファリンカリウム	ワーファリン	ワルファリンK			3日	
血管拡張薬	リマプロスタールファデクス	オバルモン	プロレナール		休薬なし	1日	休薬なし
	ジピリダモール	ベルサンテン					
	ジラゼブ塩酸塩	コメリアン	ジラゼブ				
	トラビジル	ロコルナール					
	イブジラスト	ケタス					
	イフェンプロジル酒石酸塩	セロクラール					
分類	一般名	商品名	休薬期間		理由		
分子標的薬	アキシチニブ	インライタ			1日前に中止、4週後に再開	創傷治癒遅延	
	スニチニブ	スーテント			10日前に中止、4週後に再開		
	バゾパニブ	ヴオトリエント			14日前に中止、4週後に再開		
	レゴラフェニブ	スチパーガ					
	レンパチニブ	レンピマ			7日前に中止、4週後に再開		
	ソラフェニブ	ネクサバル					
	ベバシズマブ	アバスタチン			6~8週前に中止、4週後に再開 *ポート挿入等の小手術後の再開: 7日間あけるのが望ましい *経皮的ラジカ波焼灼術後の再開: 14日以上あけるのが望ましい		
	ラムシルマブ	サイラムザ			4週前に中止、4週後に再開 *ポート挿入等の小手術後: 前後7日間あけるのが望ましい		
	エベロリムス	アフィニトール	サーティカン		7日前に中止、4週後に再開		
	シロリムス	ラバリムス			14日前に中止、4週後に再開		
	テムシロリムス	トーリセル					
	カボサンチニブ	カボメテクス			術前規定はなし、術後10日後に再開 (大手術2か月後)		
バンデタニブ	カブレルサ			4週前に中止、再開の目安はなし			
アフレルセプト ベータ	ザルトラップ			4週前に中止、術後4週後に再開 (大手術の場合6週間)			
ホルモン製剤	△ドキシプロゲステロン酢酸エステル 結合型エストロゲン	ヒスロンH ブレマリン			術前注意、術後1週間中は中止 4週前に中止、2週後に再開	血栓症	
	レボルネグステレル・エチニルエストラジオール	アンジュ錠21・28	トリキュラー錠21・28	ラベルフォー-3錠21・28錠			
	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	シンフェーズT28錠	ルナベル配合錠	フリウエル配合錠			
	ドロスピロノン・エチニルエストラジオール ベータデクス	ヤーズ配合錠	ヤーズフレックス配合錠				
	デソゲストレル・エチニルエストラジオール	ファボワール錠21・28	マーベロン21・28				
SMER	バゼドキシフェン酢酸塩	ビビアント			3日		
	ラロキシフェン塩酸塩	エビスタ					
用薬系	メトホルミン	グリコラン	メトグルコ	メトアナ配合	ヨード造影剤使用時2日前に中止、48時間後に再開	乳酸アシドーシス	
	ブホルミン	イニシク配合	メタクト配合	エクメット配合			
SGLT2阻害薬	イブラグリフロジン	スーグラ	スージャヌ配合錠		糖尿病を合併しない心不全患者は手術当日に中止、それ以外は3日前に中止、いずれも術後食等摂取が可能になってから再開	ケトアシドーシス	
	カナグリフロジン	カナグル	カナリア配合錠				
	トホグリフロジン	デベルザ					
	ルセオグリフロジン	ルセフィ					
	ダバグリフロジン	フォシーガ					
エンバグリフロジン	ジャディアンズ	トラディアンズ配合錠					
その他	ナルメフェン塩酸塩水和物	セリクロ錠			オピオイド使用1週間前から中止 オピオイド投与中止1週間後に再開	オピオイド離脱症状	

\* 血栓のリスクによりヘパリン置換を考慮する

参考文献：各種添付文書・インタビューフォーム

- 「循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン」2008年 日本循環器学会
- 「心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013年改訂版)」日本循環器学会、日本心臓病学会、日本心電図学会、日本不整脈学会
- 「抗血栓薬服用者に対する 消化器内視鏡診療ガイドライン」2012年 日本消化器内視鏡学会
- 「手術医療の実践ガイドライン」2013年 日本手術医学会
- 「周術期の薬学管理」第2版 一般社団法人 日本病院薬剤師会 監
- 「冠動脈疾患患者における抗凝固療法」2020JCSガイドライン フォーカスアップデート版
- 「糖尿病治療におけるSGLT2阻害薬の適正使用に関する Recommendation」2022年 日本糖尿病学会
- 「CKD 治療における SGLT2 阻害薬の適正使用に関する recommendation」2022年 日本腎臓学会
- 「心不全治療における SGLT2 阻害薬の適正使用に関する Recommendation」2023年 日本循環器学会・日本心不全学会